

ANNUAL REPORT

年間事業報告書



2022

2021.11-2022.10

「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」へのお問い合わせは

☎ 03-6280-3214

<https://www.yumewo.org/>
[受付時間] 平日9:30~17:00

〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル 4A

沖縄事務所 〒904-0417 沖縄県国頭郡恩納村真栄田3537-2 青と碧と白と沖縄

佐賀事務所 〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎1108番4



公益社団法人
難病の子どもとその家族へ夢を

ORGANIZATION OVERVIEW

団体概要



「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」
[通称:Hope&Wish (ホープ&ウィッシュ)]は、
家族皆が心から笑いあえる時間と場、機会を提供しています。

◎Give & Give いのち、を社会で育み合う

難病を患う子どもとその家族との永続的な交流を機に、
"家族""いのち""しあわせ"を社会で共に育み合う場を創出します。

社設立 公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を[通称:Hope & Wish(ホープ & ウィッシュ)]
2010年3月 一般社団法人設立
2012年11月 公益社団法人認定(内閣府)
米国フロリダ州非営利慈善団体
「ギブ・キッズ・ザ・ワールド」認証姉妹団体

ミッション 難病を患う子どもとその家族との永続的な交流をもとに、"家族""いのち""しあわせ"を社会で共に育み合う場を創出します。この活動によって、女性力の向上、少子化社会対策、ダイバーシティ対策、クオリティー・オブ・ハピネス(QOH)の価値観の創出を促すことを目的としています。

活動内容

- ウィッシュ・バケーション(旅行中の社会的ケアや金銭面も含め、難病を患う子どもとその家族全員に楽しんでいただくバケーション)の実施
- ご家族のレスパイト(休息)のための施設「Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄」の管理運営
- 当団体の活動に参加されたご家族の姿を描いたドキュメンタリー映画『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』の企画・製作及び上映
- 当団体の活動に参加された母たちによる女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」運営支援
- 当団体の活動経験を活かした小児訪問看護ステーション「ダイジョブ」の管理運営
- 故日野原重明先生追悼プロジェクト「いのちの授業」の実施運営
- 難病の子どもと家族へ就労支援をする、職業紹介事業所「出番です!」の管理運営
- 児童発達支援事業「ダイジョブ・プラス」の管理運営

代表 大住 力(元・株式会社 オリエンタルランド)



永久最高顧問 日野原 重明(元 聖路加国際病院 名誉院長)
※2017年7月逝去 享年105歳

顧問 一橋大学 名誉教授 野中 郁次郎

アドバイザー 聖路加国際病院 特別顧問 細谷 亮太
OBI HOLDINGS PTE LTD CEO 永山要 ほか

所在地 〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル 4A

連絡先 TEL » 03-6280-3214 FAX » 03-6280-3215

URL » <https://www.yumewo.org/> Email » info@yumewo.org

FB » <https://www.facebook.com/yumewo.org>

沖縄事務所 〒904-0417 沖縄県国頭郡恩納村真栄田3537-2 青と碧と白と沖縄

佐賀事務所 〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎1108番 4

御礼とご挨拶

日頃より、Hope&Wish公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢をの活動に、ご支援、ご協力を頂いており、真にありがとうございます。私たちはこの3年間、長びくCOVID-19、新型コロナウイルス感染拡大や、ロシアのウクライナ侵攻、また世界経済の混乱による物価高騰など、我が国のみならず世界規模で、現在も大きく日常生活を脅かされています。“将来”が見えない、予測ができないという状況は、これほど私たちを肉体的のみならず、精神的、社会的にダメージを与えていていると実感しています。

しかし、昨年の2022年には、そのような状況下にありながらも、悪い事だけでなく、日常の目の前にも、嬉しいこともあります。2020年にオープンしたHope&Wishバケーションハウス青と碧と白と沖縄では、オープン以来、コロナ禍による休館や利用希望者のキャンセルも、相変わらず続いているが、庭に咲く沖縄の色鮮やかなハイビスカスの花を、隣の客室にお泊りの、その日に初めて知り合った子どもに、そっと差し出してくれる優しい子どもの光景は、とても温かく、いまの時代だからこそ嬉しい光景でした。

昨年1年間の間に、難病を患う子どもとその家族や、私たちの活動にご支援、ご協力頂ける方に出逢うことができ、多くの事を学ばせて頂きました。2泊3日の家族全員旅行、ウィッシュ・バケーションで知り合ったあるご家族のお父さまは、私たちにこう、話してくれました。“幸せと言ふものは、手に入れるものではなくて、手の中にあるものに気づくことなんですよ”。それまで、そのお父さまは家族の事やお仕事でも“幸せ”を求めて、日々、頑張ってきたのですが、自分の子どもの懸命な姿を見て、そして教えられて、“幸せの本質”に気づかれたそうです。病気によって幾つかの事は諦めたりすることも必要だったそうですが、一緒に笑える声があり、一緒に目と目を合わせられる眼もあったりと、いろいろな“当たり前”と思っていたこと、その一つ一つに“幸せ”を実感できるようになっていったと話してくださいました。

私たちはつい、“幸せになりたい”と願うばかりに、他の何かに、あれやこれやと手を伸ばしたり、また、あれもこれもと少しでも多くを欲しがったり、奪い取ったりして、手に入れようとするときがあります。さらには、そうして手に入れたものを、またしばらく経つと、まだ足りないと、満足がいかず、いつまで経っても“幸せ”を実感できない時があります。しかしながら、このお父様は、そうではなくて、幸せは自分のいま、の手の中をよく見て、よく自分を利いていたら、そこに“幸せ”があることを教えてくださいました。いま、皆さまの手の中に、何が見えますか?!いま、皆さまの手の中に、何がありますか?!

同じく、ウィッシュ・バケーションで知り逢うことができた、あるお母さまは私たちにこう、教えてくださいました。そのお母さまは、幼少の頃から虐待やいじめも経験され、親の離婚も大きな傷となって、歳を重ね、自分に授かった新しい“いのち”は重度の障害と病気と共にあって、“生きること”的な辛さ、苦しさなど、多くを経験されているお母さまでした。“人生…色々とありますが、そんな時、いつも私は、自分自身にこう、話してあげるんです。それは全く、私自身の母親がいつもやっていたことで、私も小さいながら、自分の母のことを変わった人だな、と思っていましたが、いまでは、本当にすごい人だったな、と半ば後悔しながら、そう、言いかけるんです。それは、“とにかく、笑らっこ”。そんな言葉です。”

どんなことが起きても、辛いことが起きて、苦しいことが起きて、とにかく笑らっこ、だそうです。頭の中だけでモヤモヤと考えていても、何も物事は進みません。だったら、なおさら、まず、最初に笑らっこ、から、一步を踏み出すのだそうです。もちろん、笑って解決するできることもありますが、何よりも最初の一歩が大切です。その解決に向かっての最初の一歩は、笑らっこ。私たちは、とても勇気ある、大きな行動であり、言葉だと、実感しました。

2023年も、いろいろなことが起きると思います。進化も発展も、残念ながら衰退や哀しい繰り返しも起こるのかも知れません。高度情報化社会の時代、AIの時代とは言われてますが、その人間の予想を超えた大きな出来事も起きるかも知れません。しかし、どのようなことが起きても、私たちは隣の人と手を取り合って、それぞれのいま、の、いのちの役割を改めて感じ、考えながら、私たちの隣の人の痛み、苦しみを共に感じながら、一緒に前に進む勇気と行動を持たいものです。

明日の社会を夢魅て…一緒に進みましょう。

Hope & Wish 「公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を」

代表理事 **大住 力**

CONTENTS

団体概要	P1
御礼とご挨拶	P2
私たちが目指す流れ	P3
「青と碧と白と沖縄」	P5
ウィッシュ・バケーション	P6
訪問看護ステーション「ダイジョブ」	P7
発達支援事業「ダイジョブ プラス」	
佐賀県 唐津事務所	P8
本年度の主な活動	P9
SPECIAL THANKS	P13
私たちの道のり、そして、これから	P15
財務会計報告	P17
さまざまな支援方法・寄付用途	P18

VALUE MAP -私たちの活動-

私たちが目指す流れ

私たちはこれまで活動を通じて、約331家族と出会い、

交流を深めています。

そして、何よりも強く感じるのは、

“家族・いのち・しあわせ”という

生きる本質について

本気で向き合っている考え方や

生きざまの素晴らしいです。

私たちはこのような家族の

さまざまな“チカラ”を、社会に還元し、

社会全体を生きる歓びで明るくする

活動を目指しています。



Hope&Wish バケーションハウス

青と碧と白と沖縄 あおとあおとしろとおきなわ



青と碧と白と沖縄は、どなたにでも宿泊、休息いただけるレスパイト施設です

所在地：沖縄県国頭郡恩納村字真栄田3537-2

社会のみんなの“ふるさと”にしたい

みんな一人ひとりが“本当の自分に還れる場”になるように

まなみちゃんは、20歳の誕生日を間に控え、ご両親と一緒に念願の青と碧と白と沖縄に来てくれました。高校3年生まで自分の病気に気づかず、それまでは、3歳上の兄ちゃんが生まれつき病気で車椅子生活を送っていて、ヤングケアラーとしてお兄ちゃんのお世話をしていました。高校生の頃、普通の生活をしている中で突然転んだり、つまずいたりすることがあり、周りからいじめられることもあって悲しい思いも経験したのですが、それは結果的に難病が原因だったことが判り、逆に安心したとお話ししてくれました。



小さい頃からお兄ちゃんのお世話をしていたので、人のために役に立ちたいという気持ちを持っていて、将来は心理カウンセラーになりたいという夢があります。今はそのための一生懸命、資格取得のために勉強に励んでいます。

青と碧と白と沖縄のことは、ホームページを通して知り、そのコンセプトに惹かれて、お父さんに行きたい!とお願いしたそうですが、コロナウイルスの影響もあり、1年越しに宿泊に来てくれました。お父さまも何度も沖縄に来ている方ですが、初めて心から沖縄を感じられる時間を過ごせたと、朝食に話して下さったことが嬉しかったです。



Wish Vacation

家族全員旅行 ウィッシュ・バケーション

“家族みんなで旅行に行きたい”

当団体の主な活動のひとつである、ウィッシュ・バケーション。難病を患う子どもとその家族全員を無償で旅行に招待するプログラムは、いつもと少し違う“家族全員の時間”となり、家族みんなで笑い合うひとときになっています。

「家族全員で旅行にいきたい」「同じ形式を見て、ご飯を食べて、お風呂に入っておしゃべりしたい」
そんな願いをかたちにしたのが、ウィッシュ・バケーションです。

また、ウィッシュ・バケーションは、多くの地元の企業や協力者があたたかく迎えてくれることも大きな特徴のひとつです。
人って、社会ってあたたかいな、と感じる場にもなっています。

新しくウィッシュ・バケーション先が増えました!

ウィッシュ・バケーション@島根県出雲の国

代表の大住力が講演をしたことがご縁となり、島根県江津青年会議所(JC)の皆さまの協力により、
ウィッシュバケーション@島根県出雲の国 の実現に繋がりました。

八雲立つ出雲の国が神の国・神話の国として知られているのは、神々をおまつりする古い神社が、今日も至る処に鎮座しており、国譲りの逸話で有名な大国主大神(おおくにぬしのみこと)を祀る出雲大社は、神の国・出雲の中心的存在です。“縁結び”的神、で有名ですが、出雲大社は決して男女の縁だけでなく、生きとし生けるものが共に豊かになるための尊い結びつきを叶えます。日本書紀や壮大な神話の世界に思わず惹きこまれる、スケールの大きな神社を参拝したり、神話の世界で大蛇が火や煙を吹くリアルな演出の“石見(いわみ)神楽”を鑑賞したり、温泉旅館(なかのや)で家族でゆったりとした時間を過ごします。また大山隠岐国立公園の中央にある三瓶山(さんべ)でフィールドアスレチックやサバイバルゲームも体験します。



島根
出雲の国



誰が参加
できるの?

- 難病のため闘病中、通院中のお子さま（0～20歳未満）とそのご家族全員※難病指定外の方もご相談ください
- 家族全員で前向きに参加できるご家族
- 担当医師より旅行外泊許可を得られる方
(家族全員旅行ウィッシュ・バケーションをご希望の場合)

※主要駅からの交通費・宿泊費・テーマパークチケット代は、当方より無償にて提供致します。
※その他、別途発生いたしました費用はご負担をお願いする場合がございます。

日常サポート事業・小児訪問看護ステーション ダイジョブ BIG JOB 小児訪問看護ステーション ダイジョブ

2022年はダイジョブ設立より5年が経過しました。ダイジョブでは、退院してきた子どもが成長するために訪問看護として早期支援を行ってきました。お子さまの特徴をご家族と共に捉え、「いま」必要とされるケアの提供を心がけています。

スタッフはフォローアップコーディネートを学び、子どもの発達段階に応じて、抱き方、遊び方、栄養の取り方などをコーディネートしています。

また子どもだけでなく、育児の中心となるお母さん的心身ケアも行います。

NICU・小児科の専門知識と、女性の心身ケアが行える助産師・看護師が主になり訪問に伺っています。

きょうだいの成長にも大切に関わりながら、私たちはこれからも「その子らしく」、その「家族らしく」生活していけるように看護の提供をしていければと思っております。

日常サポート事業・発達支援事業

ダイジョブプラス+ BIG JOB 発達支援事業 ダイジョブプラス

発達支援事業「ダイジョブプラス」は開設し1年以上が経過しました。居宅型児童発達支援や保育所等訪問を中心に福祉制度を使い、社会への一歩を踏み出すための支援を行うことができております。

「ダイジョブプラス」は訪問看護ステーション「ダイジョブ」での経験をいかした「看護」に「療育」をプラスして、子どもたちの力を引き出せるように、一人ひとりに合った発達支援プログラムを作成し、支援しています。

子どもたちとの関わりの中で私たち支援者も、子どもたちの見せてくれる様々な姿を楽しみながら引き続き支援していければと思っております。



●ダイジョブ オンライン勉強会・研修会

ダイジョブでは、子どもたちが「安心・リラックス」できる予防環境をつくることをめざしています。対面の研修はじめ、オンライン等でも学びを深めていきました。

●実習生の受け入れ

医療者、看護師を目指す実習生の受け入れも積極的に行ってています。

●「はるマルシェ」の開催



ダイジョブのご家族同士、スタッフが、「日常」から一歩外へ出て交流できる場を作ることを一番の目的に、ご家族が身体も心もゆるっと楽しめるように企画しました。当日は多くのご家族に足を運んでいただき、双方にとって心温まる場となりました。

●シンデレラ・プログラム／スノーホワイト・プログラム



シンデレラ・プログラム
スノーホワイト・プログラム
って?
外出が困難なご家族のために
病室やご自宅など、
ご家族みんなが楽しめる
オーダーメイドの
ホームパーティ等を
実施します。

ご家族のかけがえのない時間を創るために、スタッフそれぞれがその家族が喜ぶことを考えて一人一人が役割をもって関わります。ご家族も関わるスタッフも「嬉しい、楽しい」を分かち合える時間をつくることができました。

新事務所“佐賀事務所”開設

2023年秋実施(予定)、「世界一のラブレター・コンテスト」を開催するにあたり、その記念すべき1回目の会場を佐賀県唐津市波戸(はど・ハート♡)岬とし、その唐津市に事務所を開設しました。

唐津市は唐津城のほか、全長約5キロにわたる日本の3大松原(三保・気比)、100万本を超える黒松の「虹の松原」でも有名な観光地もあります。福岡の博多からも約1時間の海沿いのドライブで行け、とても風光明媚な場所にあります。



2023
第一回
「世界一のラブレター」
コンテスト

大切なあの人に いつ、突然、逢えなくなるか、判りません。だからこそ、いま、伝えておきたい…
もう逢えない…って解っていても、想いはやまない。だからこそ、いま、伝えておきたい…
あなたの想い。届け、ここ、から。

「世界一のラブレター・コンテスト」とは、皆さんも一度は書いたことがある“愛”的さや、ラブレターの「世界一」をコンテスト形式で選考する大会です。2023年秋に向けてその準備に入っています。世界一を決定する選考委員の皆さんや賞品、賞金の設定など、その準備は山のようにありますが、「世界に溢れている“愛”を皆さんに浴びるように感じていただきたいために頑張って参ります。

また、新事務所の開設と共に、「佐賀県ふるさと納税」の関連団体としても佐賀県に認証をされたので、是非皆さんQRコードより、ふるさと納税の寄付を通してのご支援をよろしくお願いいたします。



以下の「ラブレター」は、代表の大住が2009年の冬頃に、当時、毎日乗っていた電車(通勤電車)有楽町線で、毎日違う小学校1,2年生くらいの男の子に渡したものです。
見ず知らずの男の子とそのパパがあまりにも…頑張っていたから。



ふるさとチョイス
(ふるさと納税サイト)

[https://www.furusato-tax.jp/city/
product/41001/317](https://www.furusato-tax.jp/city/product/41001/317)



私は、毎朝いつも、あなたと同じ電車、同じ車両に乗っている44歳の
おじさんです。あなたはいつも、バックパックに書類をいっぱい詰め
込んだスーツ姿のお父さんと二人で、車両の一一番隣の三人席に座って
いますね。大切にピカピカと光っているランドセルもよく似合ってい
ますよ。

お父さんはいつも、あなたの顔をじっと見つめながら、いつも仲良く
手を繋ぎながら、あなたに一生懸命、声をかけているのに、あなたは
いつもそっぽを向いて、たまに、なにか小さな声で話しているよう
な姿を見かけていました。でも何日か経って、おじさんは、本当はあなた
は目がよく見えなくて、話もあまりできない障害があることを
知りました。障害があるのにもかかわらず、お父さんと一緒に、毎日、
電車に乗って、通学していたのですね。

私があなたにできることは、あまり多くありませんが、ディズニーラ
ンドのチケットをあなたとお父さんに送ります。今度、お父さんが休

みの日にでも、遊びに行ってきたください。あなたには、ミッキーは
見えないけど、ミッキーはその大きな顔を寄せてくれたことがあります。
ミニちゃんも優しいから、あなたにキスをしてくれ
るでしょう。ドナルドはちょっとうるさくて、いたずらもして「かんべ
すよ。時々、もどかしくなる時もあるけど、その分、ミッキーがちゃんと
フォローしてくれるから安心です。
あなたも苦手なところがあると思いますが、ちゃんとパパがいつも
一緒に居てくれるから、ドナルドみたいに周囲の人を笑わせてくれ
る毎日、ありがとうございます。お返事はいりませんよ。これから
も、おじさんもあなたと一緒に乗っていますから。
あなたとパパと一緒に乗っているおじさんより

本年度の主な活動

11月

●シンデレラ・プログラム

外出が困難なご家族や緊急性の高いご家族のため
に病室やご自宅など、ご家族みんなが楽しめるプ
ログラムを実施しています。
今回はキッチン付きのパーティールームを借り、
ホームパーティーを実施しました。



●「Ready to Stand」(立ち上がる勇気)プロジェクト始動

当法人代表大住の著書「一度しかない人生を『どう生きるか』がわかる100年カレンダー」の内容を、実際に大住が自ら指導するセミナーが全国各地で始まっています。このセミナーは、誰でもが自身の人生を本気で考え、本気で生きていくために、自身の命が終わりになる時期までを設定し、ゴールを決めて、自身と向かい合っていく為のセミナーです。
またこのセミナーを難病の子ども本人やご家族が講師として登壇し、就労支援の一つとしても活躍できる場となるような仕組み(プロジェクト)をつくりました。



2021/11

12

2022/1

2

3

4

12月

●第一回「子ども在宅連携研修会」開催

この研修会は訪問看護ステーションダイジョブ、発達支援事業ダイジョブプラスが主催し、東京都内の周産母子センターのある病院の看護師と地域で働く訪問看護ステーション等に勤務する看護師を対象に、お家に帰ってくるまで～退院してからの支援について一緒に学ぶことを目的として実施しました。

酸素や栄養チューブ、人工呼吸器などたくさんの医療的ケアを持って自宅に帰ってくるお子さんが増えている中で、そういったお子さんとご家族がどのように生活しているのかを知ってもらうために、ダイジョブファミリー2組のスペシャル講師も迎え、大変充実した研修会となりました。



●第二回「子ども在宅連携研修会」開催

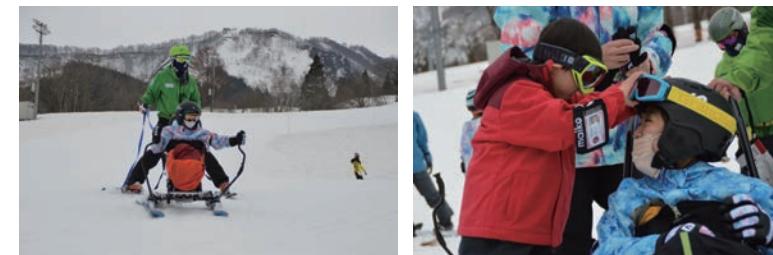
第二回目として、より内容も深い研修会を実施いたしました。訪問看護ステーションダイジョブでお勧めしている座位保持椅子「シュクレN」の開発者でもあるNPO法人ポップンクラブ代表理事の村上潤先生と、日本一リアルタイムに相談できる小児PTとしてSNSをはじめとしたオンラインで活動しているかめきち先生にもご講演いただきました。



3月

●ウィッシュ・バケーション@舞子スノーリゾート

株式会社ホスピタリティオペレーションズ・株式会社舞子リゾートの皆さん、障がいスキースクール・ネージュの皆さまのサポートのもと、家族みんなでスキーを楽しみました。コロナ禍の影響を大きく受け、団体としても大変久しぶりのウィッシュ・バケーションの開催となりました。



●交流遠足@沖縄

春の沖縄で、病気や障がいのある子どもと健常な子どもと一緒に、家族みんなでお出かけを体験する交流演奏会を実施しました。日頃健常児の家族と病児の家族が交流する機会が少ないことから、今回は、皆でともに楽しい時間を共有する大変良い機会となりました。



●ドキュメンタリー映画上映会&活動報告会@沖縄

当団体制作のドキュメンタリー映画「Given~いま、ここ、にあるしあわせ~」の上映会と、活動報告会を沖縄にて開催しました。この映画は、実際に当団体の活動に参加した3家族の日常と、それぞれの本当の“しあわせ”を描いた作品で、一人ひとりが「いのち」について考えるきっかけとなりました。報告会では医療的ケア児の母から発表もあり、とても良い時間となりました。



2

4月

●女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」演奏

桜の残る京都、梅小路公園内にある「梅小路ホテル京都」にて、ホテルのご協力のもと開放的な素晴らしいロビーでの演奏会を実施しました。



女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」

メンバー全員が難病を患う子どもを授かった母たちで結成された和太鼓奏団です。2015年8月に結成され、これまで様々なイベントや企業、刑務所など多くの場所で演奏とスピーチを通して活動をしてきました。

病児を見ながら月に一度だけ和太鼓を叩き、「本気で生きる」ことを聴いてくださる方々に伝えていきます。

本年度の主な活動

5月

- 女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」NHK総合「Dearにっぽん」放送

「ひまわりのやうに」がNHKの密着取材を受け、番組に特集を組んでいただきました。番組の中では、メンバーと子ども、家族との日常を紹介しています。そして和太鼓を打つことで前を向いて進む姿をご紹介いただきました。

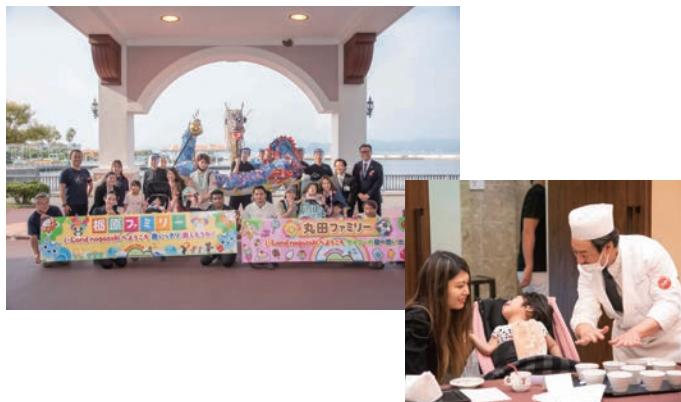


5

7月

- ウィッシュ・バケーション@長崎

長崎県伊王島にある i+ Land nagasaki の全面協力の元、ご家族は自然のアクティビティや光のエンターテイメントを楽しみました。



6

9月

- 女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」演奏

大阪の敬老会にお声かけいただき、会の中でスピーチと演奏をさせていただきました。地元の多くの高齢者の方々にお集まりいただき、アットホームであたたかな時間となりました。

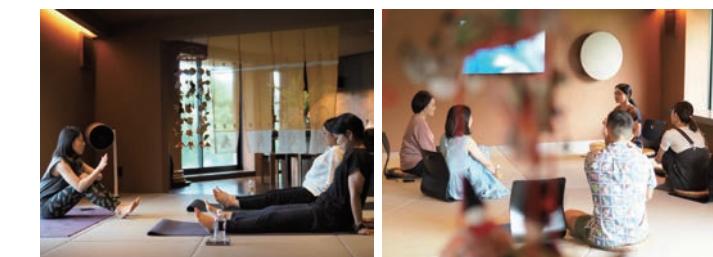


7

8

- Reborn Camp（リボーンキャンプ）開催

頑張っている女性を応援するキャンプを、Hope&Wishバケーションハウス「青と碧と白と沖縄」にて実施しました。女性ならではの本当の力、自分の強みを発揮させるために、ありのままの自分を感じ、向き合う時間を大切にします。身体の不安ごとの相談や、骨盤調整、身体にいい食事、そして沖縄という大自然。キャンプを通して「いまの私を好きになる」そんな場にしていきます。



9

10

6月

- ウィッシュ・バケーション@東京

東京ディズニーランド・浅草を訪れ、人力車やカリカチュア（似顔絵）の体験をする等のプログラムを実施しました。



- ウィッシュ・バケーション@大阪

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを訪れ、美容院で家族全員でヘアカットを体験する等のプログラムを実施しました。



- ウィッシュ・バケーション@舞子 報告会

2022年3月に実施したウィッシュ・バケーション@舞子の報告会を新潟県舞子スノーリゾートにて実施しました。冬とは景色ががらりと変わり、グランピング施設の設置がされ、木々の緑が初夏を感じさせていました。「病気があっても誰でもスキーナを楽しめる！」という想いを再確認する会となりました。



- いいこと¥1510喜風チャリティー 始動

株式会社エコリングと協働して、各家庭に眠っている物品等を寄付することで、社会全体に良い風を循環させていく「いいこと¥1510喜風チャリティー」をスタートさせました。



EcoRing

詳しくはこちら

10月

- ウィッシュ・バケーション@高野山

和歌山県高野山金剛峰寺の僧侶の皆さまにご協力いただき、高野山でのウィッシュ・バケーションを実施しました。精進料理をいただいたり、勤行（祈りの行）も毎朝、夜にも行わせていただきました。



- Hope&Wishバケーションハウス「青と碧と白と沖縄」
日本建築士会 建築作品賞 大賞・優秀賞受賞

「青と碧と白と沖縄」がこの度、第二回日本建築士会連合会における建築作品賞の大賞、及び優秀賞を受賞いたしました。

令和 第2回日本建築士会連合会 建築作品賞	
大賞・優秀賞	本作品は「I-2 教育・文化・医療・福祉系の建物」の選定賞受賞作品である。
設計担当者	NAP建築設計事務所 東京建築士会
受賞作品名	ホタル又は旅館／沖縄県国頭郡恩納村
建築面積	1,220.20m ²
延床面積	1,366.25m ²
総工費	121.50万円
竣工日	令和2年3月31日

風穴のケアハウス

詳しくはこちら

Special Thanks

たくさんの愛をありがとうございます

本年も当団体の活動に、個人、企業・団体の皆さんから、熱いご支援・ご協力をいただきました。
すべての皆さんに、心より深く感謝申し上げます。



■協力団体

当団体の活動に“協働”、
ご協力をいただきました。

公益財団法人日本財団様
公益社団法人日本看護協会様
公益社団法人日本助産師会様
公益社団法人日本歯科医師会様
公益社団法人ガールスカウト日本連盟様
公益財団法人社会貢献支援財団様
新老人の会様 ほか

■ドネーション(ご寄付)

当団体の活動を支えるための
ご寄付をいただきました。

個人・企業・団体
計 1218 名・社(団体)



■メッセンジャー

当団体の想い・活動を
広く社会に伝えていただきました。

医師:故・日野原重明様
大学名誉教授:野中郁次郎様
医師:細谷亮太様 ほか



i+Land nagasaki (株式会社 KPG HOTEL&RESORT)様



高野山真言宗 総本山金剛峯寺様



■アクション

当団体の活動「ウィッシュ・バケーション」において、物資やサービス提供を通じてご支援をいただきました。

●宿泊施設やイベント会場をご提供

株式会社浦安ブライトンホテル様
株式会社 KPG HOTEL&RESORT 様
高野山真言宗 総本山金剛峯寺様
一般社団法人東京アメリカンクラブ様
株式会社ホロニック様
株式会社舞子リゾート様 ほか

●医療面でのサポート

社団医療法人 敬愛会様
医療法人 恕泉会様
医療法人 治久会様 ほか

●参加したご家族のヘアカットなどの サービスをご提供

株式会社 GARDEN様
株式会社レスイズモア様 ほか

●移動に関するサービスのご提供

スカイマーク株式会社様
両備ホールディングス株式会社様
グッドカードライフ株式会社様 ほか

●地元の方によるご支援

新城彰様 当真嗣平様 徳元佳代子様 ほか

●家族の誕生日等のアニバーサリー時に プレゼント・サービスをご提供

株式会社アウラ様 株式会社アミティ様

株式会社ティコク製薬様 ほか

■ドリーム

プロスポーツ＆アーティスト界から
夢と勇気をいただきました。

[プロスポーツ]

ドイツ・ボルシア・ドルトムント様
公益社団法人 ジャパンプロフェッショナル
バスケットボールリーグ様
プロ野球選手 炭谷銀朗様
プロ野球選手 武隈祥太様
一般社団法人 なでしこケア様
PGA TOUR 様 木村光宏様 木村沙友希様

[アーティスト]

シンガー 綾戸智恵様
ピアニスト 西村由紀江様
ブルースハーモニカ KOTEZ様
トランペッター 多田暁様



株式会社エビスエンタープライズ様

■CSR活動

たくさんの企業様から事業活動を通じて、
ご協力いただきました。

株式会社 ホスピタリティオペレーションズ様
サイバーソリューションズ株式会社様

社会福祉法人 真宗協会様

株式会社 ベネフィット・ワン様

スギホールディングス株式会社様

株式会社スヴェンソン様

ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ様

ヤンセンファーマ株式会社様

ゴールドマン・サックス・アセット

・マネジメント株式会社様

OBI HOLDINGS PTE LTD様

bybit様

第一三共株式会社様

エーザイ株式会社様

株式会社ゼン様

株式会社リグア様

■ファミリー

これまで約331の
ご家族が活動に参加され、
社会の人々に
いのちと“底力”を
教えてくださいました



13

私たちの道のり、そして、これから

● Hope & Wish設立

「もし、夢がかなうとしたら、何をしたい?」と難病を患う子どもに尋ねると、その多くが「ディズニーランドに行きたい!」と答えます。そんな“夢の場所”に勤めていた大住力が、「自分の役割」を考え、Hope&Wish「公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を」を立ち上げました。

PPD (Parents Permanent Dialogue)

● 両親との会話

ご両親との対話は、お父さん、お母さんご自身の生まれた頃のお話、半生も懐かしく振り返ります。そのような時間から「家族・いのち・しあわせ」の本当の意味を教えていただきます。私たちは“支援する”側ではなく、“学ぶ”側だったのです。



国際ビジネス賞

● スティーヴィー賞 金賞受賞

フランス・パリでの授賞式では、大阪の米田さん全員に列席をいただき、スピーチを披露していただきました。

女性和太鼓奏団

● 「ひまわりのやうに」創設

メンバー全員が、難病を患う子どものお母さんです。忙しい時間をやりくりして、練習を重ね、様々な場で演奏を披露しています。贈られる拍手と喝采が、彼女たちの自信につながり、明るい光で社会をも照らしています。



● ウィッシュ・バケーション @大阪、沖縄、広島、長崎、高知、新潟…

2010

大切なことは、家族が本当に“しあわせを実感できる場所”をつくることです。全国12ヶ所の協力地に支えられ、様々な場所で実施しています。

2014

2016

2017

● 映画製作

『Given～いま、ここ、にあるしあわせ～』

難病を患う子どもとその家族の日々の暮らしを、より多くの方に知っていただくために、3家族に密着しドキュメンタリー映画を完成させました。本当の「家族・いのち・しあわせ」について、また、新たな気づきがありました。

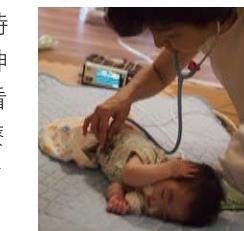
第6回(2017年度)「日本医学ジャーナリスト協会賞」映像部門大賞受賞



小児訪問看護ステーション

● 「ダイジョブ」を開設

病気の子どもだけでなく、その家族、特に子どもをケアする「お母さん」の精神的・社会的サポートを行う小児訪問看護ステーションを開設しました。医療的ケアだけでなく、高いホスピタリティで“家族のしあわせ”を創ります。



家族のもとに出向いて…

● ホームパーティーの開催

難病の子どもたちの中には、外出できない子どもや、ベッドを離れない子どもも大勢います。そして、そのほとんどは“お母さん”がずっと見て、育てています。そちらに出向いて行うパーティーを実施しています。



難病の子どもと家族のための就労支援

● 職業紹介事業所「出番です!」を開設

難病を患う子どもと家族の就労支援事業をスタートさせました。社会の一員として、しっかりと“ひとのために”働く環境を整備します。

日野原重明先生のプログラムを継承

● 「いのちの授業」

当団体永久名誉顧問・医師の日野原重明先生が全国の小学校で行ってきた「いのちの授業」を、私たちが受け継ぎ、主に小学生を対象に“いのち”をテーマにした、無料出前授業を実施しています。

2018

2019

2020

2021

2022

2023～
これから

● Hope&Wishバケーションハウス 「青と碧と白と沖縄」オープン

沖縄県国頭郡恩納村に、誰もが宿泊できるバケーションハウスをオープンしました。



● 働きがいのある 会社ランキング3位受賞

● Ready to Stand プロジェクト始動

100年カレンダーセミナーを軸に、Ready to Stand(立ち上がる勇気)プロジェクトを始動しました。



● Reborn Camp 開催

頑張っている女性を応援するキャンプを、Hope&Wishバケーションハウス「青と碧と白と沖縄」にてスタートしました。



Financial Accounting Report

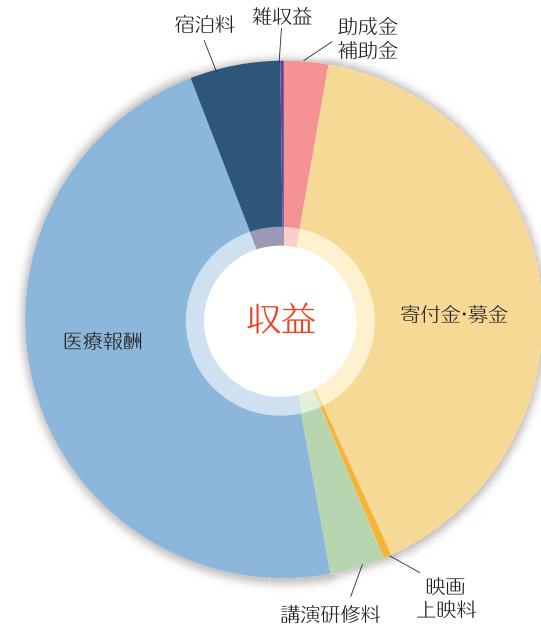
財務会計報告

2021年度（2021.11-2022.10）の収支は以下の通りです。

■ 収益

単位：円

助成金・補助金	2,585,884
寄付金・募金	37,806,987
映画上映料	468,750
講演研修料	3,210,672
医療報酬	43,967,969
宿泊料*	5,282,025
雑収益	208,678
合計	93,530,965

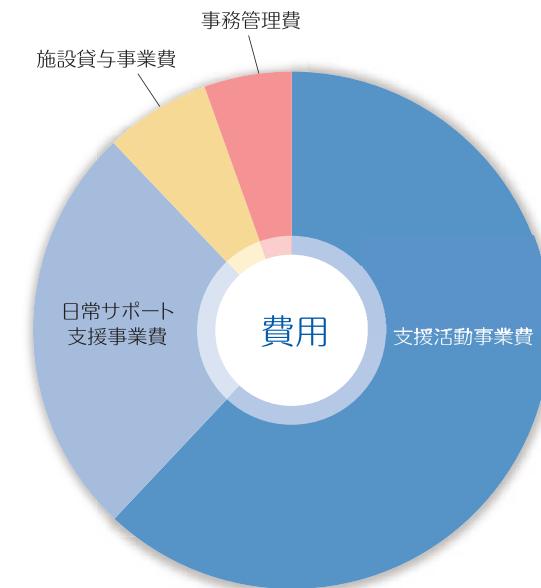


※Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄での宿泊料となります。

■ 費用

単位：円

支援活動事業費*	54,218,395
日常サポート支援事業費	22,633,176
施設貸与事業費*	5,788,392
事務管理費	4,785,778
合計	87,425,741



※啓発宣伝事業費、地域普及事業費、募金活動事業費は、支援活動事業費に含まれます。

※施設貸与事業費とは、Hope&Wishバケーションハウス 青と碧と白と沖縄の管理運営事業となります。

Hope&Wish Fundraising

さまざまな支援方法

当団体は皆さまからのご支援・ご協力により活動することができます。全国の皆さまからのご寄付に加えてさまざまな形による支援方法がございます。いま、あなたができるることを…皆さまからのご協力をお願いいたします。



NEW

いいこと¥1510
喜風チャリティー

あなたの周りで、ご自宅で、オフィスで眠っている逸品を、専用のバッグを購入後(1バッグ1,510円)、そのバッグに入れて、宅配業者に集荷いただだけで、それを株式会社エコリングが買取、換金します。
そのお金が当法人に寄付され、各種活動の資金として活用させていただきます。

Hope & Wish

活動のために大切に使用します



是非ご寄付ください！



(株)エコリングを通じてHope&Wishに寄付されます



お申し込みはこちらから

マンスリー会員(毎月のご寄付)

都度寄付(単発のご寄付)

年間法人会員
チャリティ商品売上の寄付

ドキュメンタリー映画

『Given～いま、ここ、にある しあわせ～』自主上映会

女性和太鼓奏団「ひまわりのやうに」
スポンサー

ふるさと納税

佐賀県、及び東京都中央区のふるさと納税の寄附先として認定されています。

LEA研修

家族とのテーマパーク同行体験や、ボランティア等の体験をもとに人間力を形成。社員研修がそのまま社会貢献になるという、画期的な試みです。

ソコリキ教育研究所

代表の大住力の講演、研修の窓口「ソコリキ教育研究所」は収益を寄付し活動に活用しています。



褒章制度

内閣府より、私財を寄付された個人や法人に授与される「紺綏褒章」の公益団体認定を受けております。個人の方は500万円以上、法人・団体は1,000万円以上のご寄付をいただいた場合に、天皇から授与される紺綏褒章授与申請の対象となります。



遺贈・相続によるご寄付も対象になります。



※当団体は内閣府より「公益社団法人」の認定を受けています。当団体への寄付金は特定公益増進法人に対する寄付金の特例(法人税法施行令77条第1項第3号)として、個人・法人とともに寄付金控除の対象となります。

ご寄付・ご支援について詳しくは、公式ホームページ(<https://www.yumewo.org/>)をご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。